

せい ろう まち
せ 聖籠町
議会だより

VOL.
89
平成22年1月8日発行

笑顔で登校



12月定例会主な質疑 3~5ページ

9人が一般質問 10~19ページ

委員会報告 20・21ページ

農産物加工センター 建 設



特産品の開発が期待される加工センター

農産物を利用した付加価値の高い特産品の開発と製造を促進し、農業所得の向上と農業振興をはかることを目的とする聖籠町農産物加工センターについて、設置及び管理等の必要な事項を定めるため条例を制定します。

小川益一郎議員 加工センター使用料1000円の根拠は何か。

主な質疑

加工センター
10000円の
根拠は

使用料金のみが運営経費となるのか。
利用者が販売、処理をすることになるのか。

利用しやすい
料金設定

産業観光課長 使用料1000円の根拠は、原則は町民のみであり、農業振興のため農家が利用しやすい料金設定とした。使用料が基本収入である。指定管理者自らが、運営に頑張る。
販売は農産物加工センターのシールで値つけを行い、販売する。販路の確保に頑張ってもらおう。

問題があつた場合
責任はどうなる

加藤正之議員 利用対象者の利用は、自家消費も含むとなっているが、一度に集中したらどうするのか。
加工センターの名前でシールをはるが、販売は個人である。商品に対しての責任はどうなっているか。

加工センターの
責任で

産業観光課長 利用申し込みは3カ月〜7日前までとしている。利用者の

連けいしたい

町長 出来たものは商品として販売するなど、連けいしたい。

商工会との
連けい

田宮実議員 農産物加工センターと商工会との連けいはどうなるか。

集中は避けられる。

販売は個人であるが、製造元シールをはるため問題があつた場合は、加工センターの責任となる。

12月定例会

平成21年第4回定例会は、12月6日から11日までの6日間で開かれました。町長から行政報告があり、聖籠町農産物加工センター条例の制定、聖籠町公共下水道事業に地方公営企業法の全部を適用することに伴う条例、聖籠町職員定数条例の一部改正、聖籠町介護保険条例及び聖籠町後期高齢者医療に関する条例の一部改正など14議案を慎重に審議し、原案どおり可決しました。また、固定資産評価審査委員会委員の選任同意1件、人権擁護委員の推薦1件は適任と可決しました。また、EPA（経済連携協定）・FTA（自由貿易協定）推進路線の見直しを求め、日米FTAの推進に反対する意見書など4件を可決しました。一般質問では、9人の議員が、JFA（日本サッカー協会）アカデミー、教育、農業振興などについて、2日間にわたり、町政全般を質しました。

新春を迎えて



議会議長
須貝 龍夫

町民の皆様、明けましておめでとうございます。ご家族おそろいで健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

国内においては、昨年8月に鳩山内閣が誕生し国民に約束をした事業の実現のために事業仕分けで不要の歳出を見直し、22年度予算に国債44兆円を上限とする予算編成に頑張っています。長く続く経済不況の時代をどう乗り切るかが最大の課題であろうかと思えます。

本町は、行政改革を進めているこの時期においても財政的に豊かな特殊事情があるとは申せ、長期総合計画に基づいた効率的な行政運営が必要であると考えます。現在、その計画に基づいて着々と各種の政策が実施されております。

私共、議員におきましても活力ある議会活動を目指し、町執行機関と車の両輪のごく均衡のとれた議会運営を行い、慎重かつ英断をもって対応すべく決意を致しております。

また、議会は、住民の声の代弁者として、皆様の誠実な期待や要望を町の施策に反映させなければなりません。多様化して参りました町民要望の中にあつて産業基盤の整備、生活環境の整備、教育文化の振興、福祉の増進など幾多の問題が山積しております。これの適正な把握と対処を行い、聖籠町に住んで良かったと喜んでいただけるよう努めたいと思っております。

町民の皆様のご健康とご多幸をお祈り致すと共に、一層のご指導とご協力を賜りますようお願い致します。



議員名簿

議会議長	須貝 龍夫
議会副議長	堀 常正
議会議員	高松 守雄
同	小林 政榮
同	田村 富美男
同	宮沢 光子
同	桜井 怜
同	五十嵐 利栄
同	加藤 正之
同	中村 恵美子
同	小川 益一郎
同	田宮 実
同	手島 八郎
同	高松 春雄

工事請負契約の変更

亀代小学校校舎

耐震補強工事

3637万円増額

亀代小学校校舎耐震工事について、議会の可決後、工事内容に変更が生じました。

外部足場用巾木設置、

外壁欠損補修、建具改修など工事費が増額となりました。

県から変更通達

なかった

学校教育課長 発注時点では県からの変更事項の通達はなかった。

工事の変更部分の1/2は補助対象となるが、残りは町負担である。

主な質疑

設計段階のミスではないか

小川益一郎議員 法律が変わったことにより、工事内容が変更されることは、事前に承知していなかったのか。

3600万円は大きな増額である。設計段階でのミスではないか。増額は全額、県からの補助対象になるのか。



子どもたちの安心・安全を確保（亀代小学校）

農産物加工センター

調理機器等購入

1669万円

建設されている農産物加工センターへ設置される調理機器等、物品購入契約をしました。

主な質疑

どうなっている 指名業者

小川益一郎議員 物品購入契約について、調理機器等の専門業者だけの指名入札ではなかった。

専門業者ではない場合、他から仕入れて納入ということになる。

視名業者の選定基準はどうなっているのか。

ルールに基づいて 指名している

町長 一定のルールに基づいて指名を行っている。検討を加えながらやってきている。

町道の認定

道路法において 認定が先

道路法の規定に基づき次第浜山辺川線1446・9メートル、亀塚山辺川線140メートルの2路線を町道認定しました。

主な質疑

従来と違う 町道認定

宮沢光子議員 新設道路の場合、今まで、道路が完成した後、町道認定した。今回は、税務署との協議の結果、町道認定が先になったようであるが、今後新設道路の場合、町道認定を先に行なうのか。

従来と違う 町道認定

道路法において認定が先ふるさと整備課長 今回、税務署と協議した結果、町道認定を先にした。しかし、新設道路の場合、道路法において本来認定が先である。今後、道路法と税務署の見地から、新設道路の場合、事前に町道認定する。

一般会計補正予算

中小企業不況対策特別資金預託金
消耗品費（新基準消防団活動服等）
財政調整基金積立金

2000万円

737万円

1億円

主な質疑

スケボー事故 管理は誰か

平成21年度一般会計の既定予算に1億4603万円を追加し、総額82億2579万円とするものです。

主なものに、中小企業不況対策特別資金預託金2000万円、消耗品費（新基準消防団活動服等）737万円、全国瞬時警報システム整備工事900万円、財政調整基金積立金1億円、保育業務委託料711万円などです。

社会教育課である

社会教育課長 スケボーの設置、管理は社会教育課である。点検は事故の10日前にしたが、3日程前からくぼみが出はじめた。

どうなっている 不況対策

産業観光課長 中小企業不況対策特別資金は4月1件、5月1件、8月3件、9月6件、10月2件、年内には3件確定。3月分は新年度予算で対応する。

五十嵐利栄議員 中小企業不況対策特別資金の状況は、昨年は1件、今年は13件申し込みが増えた月別の状況はどうなっているのか。3月まで乗り切れるか。

昨年より 申請が増えた

産業観光課長 中小企業不況対策特別資金は4月1件、5月1件、8月3件、9月6件、10月2件、年内には3件確定。3月分は新年度予算で対応する。

なぜ今頃やるのか

加藤正之議員 消防服は新発田市が新基準の服にするので本町もやるのか。

生活環境課長 活動服の基準が平成13年に改正されたが、使用できるということまで使用してきた。

なぜ今頃やるのか

加藤正之議員 消防服は新発田市が新基準の服にするので本町もやるのか。

なぜ今頃やるのか

中村恵美子議員 まだ補

服の基準が変わり、近隣市町において、現行消防作業服の着用は少なくなっている。

出来るまで 3カ月かかる

生活環境課長 活動服の基準が平成13年に改正されたが、使用できるということまで使用してきた。

なぜ今頃やるのか

加藤正之議員 消防服は新発田市が新基準の服にするので本町もやるのか。

生活環境課長 活動服の基準が平成13年に改正されたが、使用できるということまで使用してきた。

なぜ今頃やるのか



日頃の訓練が基本（県消防ポンプ操法競技会）

固定資産評価審査委員に 加藤重春さん



加藤重春さん

固定資産評価審査委員である蓮野の加藤重春さんが、平成21年12月19日をもって任期満了となることから、再度推薦されました。全会一致で同意しました。加藤さんは、同委員として二期目の実績と識見並びに人格をそなえもっておられ、優れた人です。引き続き手腕を期待します。

人権擁護委員に

平野政要さん



平野政要さん

人権擁護委員である次第浜の平野政要さんが、平成22年6月30日で任期満了となることから、再度推薦されました。全会一致で適任と認めました。平野さんは、人格、識見共に高く、広く社会の諸事情に通じ、地域社会で信頼も高い人です。引き続き手腕を期待します。

読者の声



渡邊 彩さん
(次第浜)

「田舎暮らし(聖籠)のよれ」

「聖籠」の地名の起源は、聖達が集う観音堂場の一諏訪山にある観音寺(現在宝積院)の略縁起にあると考えられています。

だと思えます。聖籠町に戻って来て6年経った現在、都会生活を体験しそのよさを多少なりとも知り得たから言えるのは「田舎暮らし(聖籠)もいいもんだ」ということです。都会は、交通機関や娯楽施設が充実し、情報も多様化され、物質面での豊かさや便利さがあります。しかし反面、種々の交通機関からの騒音や雑音、人混み等がストレスの原因になることは否めません。

そこには、平城天皇の大同元年(806年)とこの国からもなく異人がやって来て堂舎を建て、この聖者が籠ったがゆえに聖籠山と名付けたと記されています。異人(聖者)であり聖者とは「聖」のことで寺院や教団を離れ山林で生活や苦行をする民間の半僧半俗の宗教者です。つまり、聖籠」という土地は、あこがれを抱いていたの

都会生活時代、スーパーで新鮮かつ安全で栄養価の高い食材をいかに安く入手するか吟味しなければいけませんでしたが、今は、漁師の親戚から新鮮な魚を、自家栽培で採れる旬の野菜を毎日食することが出来ます。半自給自足の生活を送る中で「田舎暮らし(聖籠)のよれ」を実感しています。

地域活性化対策事業

国体開催

新型インフルエンザ



渡邊町長

行政報告

昨今の景気後退による町民の生活・経済不安に対処するための施策として、昨年同様に15%の割引商品券を2億円規模で商工会への補助事業として地域活性化対策事業が、9月定例会議で予算議決されました。

9月26日から11日間に行われた各競技で熱戦が繰り広げられ、新潟県は45年ぶりに天皇杯・皇后杯を勝ちとり、各会場の競技運営も成功裏に幕を閉じました。

当町を会場とした、3競技についても総合優勝に大きく貢献しました。

サッカー競技の成年女子は役場に臨時職員として勤務している口木選手の大活躍で見事準優勝に輝き、フェンシング競技

新潟国体開催については、

新潟国体開催については、

みなさんの

請願・陳情

第4回定例会では地域住民より直接の声となります。請願2件、陳情が3件審査され、請願1件を継続審査とし、外4件はすべて全会一致で採択されました。

採択した請願

EPA・FTA推進路線の見直しを求め、日米FTAの推進に反対する請願(提出者 農林運動新潟県連合会 代表者 町田 擴)

採択した陳情

地域間格差を拡大する「地方移譲」に反対し、国土交通省地方出先機関の存続を求める要請書(提出者 国土交通省全建設労働組合北陸地方本部新潟県道支部 支部長 渡邊 均) 改正貸金業法の早期完全施行等を求める陳情書(提出者 新潟県弁護士会 会長 和田 光弘)

「協同出資・協同経営で働く協同組合法」(仮称)の速やかな制定を求める意見書「採択に関する陳情(特定非営利活動法人ワーカースコアプ(日本労働者協同組合連合会センター事業団)新潟地域福祉事業所 白根児童センター 所長 居川 諭)

継続審査となった請願

後期高齢者医療制度のすみやかな廃止の意見書を国に提出することを求める請願(提出者 新潟県社会保障推進協議会 会長 坪谷 誠)

意見書を 国・県に提出

第4回定例会で4件の意見書が提出され、全回一致で可決されました。可決された意見書は、国の関係機関に提出し、実現するよう要請します。

改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書 EPA・FTA推進路線の見直しを求め、日米FTAの推進に反対する意見書

地域間格差を拡大する「地方移譲」に反対し、国土交通省地方出先機関の存続を求める意見書 「協同出資・協同経営で働く協同組合法」(仮称)の速やかな制定を求める意見書

第6回臨時議会 給食センター事故和解

平成21年第6回臨時議会が、10月16日、1日間の日程で開催されました。提出された議案は、聖籠町教育委員会委員の任命の同意1件、給食センター事故の損害賠償の額を定め、和解することについてを慎重に審議し、可決しました。

主な質疑

和解金の算出根拠は

小川益一郎議員 給食センター事故の補償金、和解額について、非常に少ない額でないか。算出根拠はどうか。
町、聖籠の杜、運転員の過失割合はどうか。
求償権を放棄することの根拠は何か。

放棄の議決権はどうか。どうから払ったのか。

誠意をもつて対応した

町長 運転員自身の責任ということで法律上処理されている。町の責任は法律上有しない。求償権は業務委託契約の中で、事故の損害については保険の範囲内で対応することになっている。放棄の議決権の案件とはならない。

総務課長 治療費、葬儀費、生涯の利益がどれくらいあったのかを算出している。

弁護士費用は発生しないか

加藤正之議員 町としての弁護士費用は発生しないのか。自賠償の他の諸経費は

どこから払ったのか。保険会社から支払い

町長 町側の弁護士料については、当然保険の対応の中で保険会社のほうの支払いという形で、措置されると思う。



安全確認の励行

教育委員の同意

主な質疑

なぜ3小学校区こだわる

中村恵美子議員 前小柳教育委員をお願いするということだったが、本人からの取り下げで欠員となった。いきさつはどうか。

今後3小学校区にこだわり、選定していくのか。いい人材がいれば、学区が偏ってもよいのではないか。

バランスを

町長 本人の辞退等も含めて、予期せぬ対応を求められた。欠員が生じていることを考えあわせ、

早期に人材を確保するため検討してきた。基本的には小学校の学区が山倉、蓮野、亀代という形で本町はある。バランスを考えて教育委員5人を選出していく。

教育委員に

諏訪孝男さん



諏訪孝男さん

杉谷内の諏訪孝男さんが、10月1日より欠員となっていた教育委員に任命することの同意を求められ、全会一致で同意しました。

諏訪さんは、町商工会青年部の部長として活躍され、会社役員を務める傍ら、青年部OBとして青年部員の指導、育成に尽力されています。

教育や福祉活動にも熱心で、人格、識見ともに優れた方であり、教育委員としての活動に手腕を期待します。

主な質疑

公民給与の格差はどうか

五十嵐利栄議員 公務員の給与の格差となっているが2・4%の引き下げにより、公民の格差がイコールになったのか。

公民の格差はほぼゼロ

総務課長 今回の公務員と民間の格差は、2・4%の引き下げによりほぼイコールとなった。

年間いくらの減額か

中村恵美子議員 町職員、町長、副町長、議員をあわせると年間給料でいくらの減額になるか。

2647万円

総務課長 年間ですべてあわせると2647万円の減額となる。

予防接種

1300万円 内訳は

小川益一郎議員 予防接種補助費の1300万円の具体的内容と内訳はどうなっているか。

若い人は1回 1500円助成

保健福祉課長 接種料の助成で1歳から中学生、妊婦の方、1回につき1500円の助成である。65歳以上の人については、1回について2550円の助成となる。

決定遅い 予防接種への助成

宮沢光子議員 新型インフルエンザがここ数カ月間に、町内において猛威をふるっている。

早い時期から、県内の各自自治体において、新型インフルエンザの予防接種に対する助成、無料化など決定している。

聖籠町における新型インフルエンザの予防接種

への助成措置の決定は遅かったのではないかと。新型インフルエンザのワクチンは、大きなピンでの製造なので、50人程度を一気に接種しなければならぬと報道された。今後、接種方法や予防接種に関する相談窓口等どう考えているか。

予算の中で政策決定はしている

町長 町は予算の中で、季節型インフルエンザの予防接種助成について、政策決定している。今回、国の動向も見て助成を決定した。

保健福祉課長 診療所で接種する人については、今後チラシで周知する。ワクチンは1瓶10歳だが、子どもにすると50人分になる。

希望をとり、まとめて無料にならないようにしたい。相談窓口は保健福祉課で対応する。

第7回臨時議会 新型インフルエンザ接種に助成

聖籠町職員の給与に関する条例の一部改正

平成21年第7回臨時議会が、11月30日、1日間の日程で開催されました。提出された議案は、聖籠町職員の給与に関する条例の一部改正、平成21年度聖籠町一般会計補正予算、平成21年度聖籠町国民健康保険特別会計補正予算などが提出された。いずれも慎重に審議し、全議案とも原案のとおり可決しました。

人事院及び新潟県人事委員会は、公務員給与の格差である月例給、特別給(期末、勤勉手当)のいずれにおいても公務員のほうが上回っていたことから引き下げ改正を行います。自宅に係る住居手当については、廃止となります。職員の年間給与が平均で15万4000円引き下げられることになりました。

また、国及び県の特別職及び議員においても、一般職に準じ改正がなされることから、町長、副町長及び議会議員においても同様に改正します。



町民に身近な役場窓口



高松 守雄議員

国の予算概算要求の影響は

町長 政府に全国市町村会でも要請

問 政府主導で進められた行政刷新会議の「事業仕分け」作業が行われたが、不交付団体として豊かな町であっても、町政の執行において当然影響あると思うがどうか。

町長 聖籠町の影響が予想される事業は、間接的なものを含むと42事業くらいあると思っている。例えば、農道整備事業、地域健康づくり推進対策事業、女性の健康支援対策事業等である。

さらに、直轄国道の維持管理、港湾整備事業などにも影響があると思う。その他にも、診療報酬の配分、生活保護費関連、保育所運営費負担金などが考えられる。今後予算が原案として



広めようサッカーの聖籠町

閣議決定され国会で審議されるが、地方の立場で安易な削減と見直しし

問 日本サッカー協会（JFA）と聖籠町が、サッカーの若手エリート選手

JFAアカデミー 設立構想は

町長 理解を得ながら検討

閣議決定され国会で審議されるが、地方の立場で安易な削減と見直しし

ないよう予算編成を要請したい。

問 日本サッカー協会（JFA）と聖籠町が、サッカーの若手エリート選手を養成する全寮制のJFAアカデミーを町に設立計画を進めていると新聞

報道された。中学生男子を対象に2011年4月開校を目指すとの構想は。

町長 現段階では、候補地としての可能性などについて調査研究し、関係する行政機関や団体と協議を重ね、議会や地域保護者、中学校などの関係者の合意形成をはかり理解が伴うものであれば提出していく。

東港開発による 大移転から亀塚は30年

町長 記念事業があれば考える

問 亀塚集落は、東港開発により「墓石を背負って」大移転して、来年30年を迎える。

豊かな聖籠町の礎となっていると思うが当時の関係者も少なくなった。永年記念すべき日が時代と共に引き継がれていくよう30年を目前に町として記念事業として取り組む考えはないか。

町長 聖籠町にとって忘れることのできない大事業であった。集落内の記念事業を計画なら共催事業、財政支援等についても要請が伴うものであればこたえていきたい。

9議員が質問

高松 守雄 議員 (11 ページ)

1. 国の予算概算要求の影響は
2. JFAアカデミー設立構想は
3. 東港開発による大移転から亀塚は30年

宮沢 光子 議員 (12 ページ)

1. 第一義は町の子どもの育成
2. 冷静に検証すべき教育施策
3. 女性特有がん検診の無料化を

五十嵐 利 栄 議員 (13 ページ)

1. 温暖化対策の成果は
2. 事業仕分けは町にも影響あるか

中村 恵美子 議員 (14 ページ)

1. 国にFTAの中止求めよ
2. 新型インフルエンザの予防接種助成を

堀 常 正 議員 (15 ページ)

1. スポーツ指導者に支援を
2. 今後のスポーツ振興は
3. 国体の成果を生かせるか
4. 国体の経済効果は

桜井 怜 議員 (16 ページ)

1. 教科単位の遅れはないか
2. 予防ワクチンに助成基準はあるか

小川 益一郎 議員 (17 ページ)

1. 聖中へサッカー生徒の誘致町長選挙で問え
2. 国体後のスポーツ振興は
3. 新・教育委員長の所見は
4. 貸付金未償還の責任は

小林 政 榮 議員 (18 ページ)

1. 構想の周知と参加を
2. モデル事業の結果どうする
3. どうする生ごみたい肥
4. 生産調整どうする

加藤 正 之 議員 (19 ページ)

1. 多選とは何選か
2. 町民に必要な施設を
3. 町への経済波及効果は
4. 中学校への効果は



町政を問う 一般質問



五十嵐 利栄議員

問 国の環境政策が大きく変化した。1990年対比2020年で二酸化炭素の削減に対する指示が国からきているか。

京都議定書以降、町が取り組んできた削減実績はどのくらいか。

町内の生ごみを全量燃やさないで発酵肥料にする、二酸化炭素の発生をどの程度削減できるか。

試験開始から4年目を迎えた、生ごみ発酵肥料全町実施計画をどう考えているか。

町長 二酸化炭素削減目標25%に対する、国からの具体的指示はきていない。

2008年から2012年までの京都議定書削減目標6%に対し、2015年までに5・2%達成目標としている。

一般家庭から排出された生ごみは、約214トと推測しており、1ト当たりの焼却に係るCO₂排出量は786gである。全量肥料化した場合、CO₂削減可能。

温暖化対策の成果は

町長 8年間で5・2%削減目標

全町生ごみ肥料化に向けて、22年、24年度で山倉学区、蓮野学区、龜代学区と3カ年計画で取り組みたい。



国民全体で考える地球温暖化

事業仕分けは町にも影響あるか

町長 まだわからない

問 新政権が執行停止した、21年度補正予算約3兆円の中で、町に影響ある内容と、それに対する

町長 国が行っている事業仕分けによって、22年度予算に対する町への影響はあるか。一方、一括交付金増額によるプラス効果はどうとらえているか。

地上デジタルテレビ入札9件中5件が、入札不調となった。量販店価格と、小売業者価格では、越えられない壁がある。予定価格で、配慮があったか。

町長 子育て応援手当事業1548万円が執行停止となった。国の10/10補助事業なので、町独自で支給する考えはない。事業仕分けは公開であり、報道もされているが、正式な意思決定機関でもない。国からの情報もない。一括交付金は23年度からの導入と受けとめている。

デジタルテレビ入札は基本的には適正に行ったが、地元の業者間の研さんも必要だったかと反省もしている。



宮沢 光子議員

第一義は町の子どもたちの育成

町長 町の教育を優先するのは当然

問 9月初旬に議会に向け、JFAアカデミー聖籠」設立構想の概略説明があった。

突然で唐突な話に驚いた。議会でも正式に調査を計画していた。

しかし、どういう経緯か先ごろ、新聞・テレビで報道され、町民の中では設立が決定したものと誤解している人もいる。

今まで、サッカーカレッジを誘致し、新潟聖籠スポーツセンターの整備支援もした。

しかし、今回の設立構想は、今までの意味合いが違う。アカデミーの生徒を聖籠中学校に受け入れ学ばせる。

町の中学生への影響は未知数で保護者にとって

不安が募る。

一掴みのサッカーのエリア選手を育てることより町の子どもたちを育てることが大事である。

町長 JFAアカデミーについては、様々な視点での検討が必要である。地元住民や保護者・学校と十分協議し対応する。まだ、構想を練っている段階である。

教育長 11月にJFAアカデミー熊本校へ視察に行った。熊本校はアカデミーが2番目に開校したところである。

今後、アカデミーについて教育委員会で議論する。説明会は開催する。具体的な日程はまだである。

前教育長は、昨年12月にアカデミーが最初に開校した福島校を視察している。アカデミーについては文書引継をした。

冷静に検証すべき 教育施策

教育長 何らかの形で検証する

問 教育長が就任されて半年余り経過した。様々な観点から聖籠町の教育施策について率直な感想は何か。

特に、開校して8年経



文武両道の精神でがんばろう

過した聖籠中学校の教科センター方式の是非を、感情論を抜きにして冷静に検証すべきと思うがどうか。

教育長 率直な感想は立

場答えにくい。しかし、教育施策は第3次総合計画に沿って策定されたものと理解している。

教科センター方式については、建学の理念に立ち返って、何らかの形で検証する。

女性特有がん検診の無料化を

町長 前向きに検討する

問 先般、国の補正予算で年齢を限定して無料検診の事業が行われた。

21年度で終る事業であるが、今後、町独自の事業としての考えはあるか。

町長 国の動向を見る必要があるが、町独自の検査項目に追加することも検討に値する。



掘 常正議員

問 町は体育推進員に報酬を支払っているが、町のスポーツを支えている少年スポーツクラブや各クラブチームの監督、コーチに対しては支援や応援が何もない。地域スポーツの振興に貢献している人たちがもっと活動できるように町の支援ができないか。

町長 青少年育成町民会議とスポネットせいらつを通じ110万円の補助金を支出しているので運営には問題がない。関係者と前向きに進展をはかりたい。

スポーツ指導者に支援を

町長 政策的に進展を検討

今後のスポーツ振興は

町長 町民とともに振興する

問 平成19年3月に「芸術・スポーツ文化のまち」を宣言したが、その後のスポーツ振興施策がみえてこない。特に子ども等に関して、町の具体的指導ができないか。

町長 ある程度は振興されてきている。さらに町民とともにスポーツ振興をはかっていくが、子どもたちの指導はスポネットせいらつに事業活動を委託している。今後は活動のありかたに検討を加える必要がある。関係者と対応をはかりたい。



がんばれ聖中バレー部

国体の経済効果は

町長 2月中に報告

問 国体の経済効果はどのくらいか。また、この間の地場産の野菜、果物のPRをどのように推進したか。

町長 競技事業報告書を作成し2月に報告する。農産物のPR不足はあるが地場物産館からの出店に対応をした。

問 3種類の国体競技を町で開催したが、この度の成果を町のスポーツ振興、競技大会にどのように反映するのか。

町長 フェンシングやセーリングについては県の連盟と協議し、聖籠町を会場とした大会を開催する意向である。スポネットせいらつに事業計画に盛りこみ、振興策としての支援も考えていく。指導者の育成については、来年度に向けた人的な対応支援を検討している。

町長 セーリング会場地については、海洋レクリエーション基地の環境整備を講じていく。

国体の成果を生かせるか

町長 町を会場とした大会誘致

国にFTAの中止求めよ

町長 同感である



中村 恵美子議員

問 国に価格補償制度の創設を求めよ。また、FTA(自由貿易協定)は絶対に反対するよう国に求めよ。農産物の価格補償を拡大すべきである。地産地消は、米粉を使ったパンや麺類などにも拡大すべきである。

町長 FTAについては国内農産物の価格に多大な影響を及ぼすことが考えられるので同感である。今後農業関係者からの要請があるのであれば、負担のあり方も含め協議に値すると考えている。今後学校給食の米粉パンの利用回数を増やすなど対応したい。

問 国民健康保険会計への繰り入れをし、加入者の負担を軽減せよ。保険料の未納を理由に、資格証明書の発行はやめよ。後期高齢者医療制度は国に中止を求めよ。特別養護老人ホーム等の待機者が全員入所でき、老後がおくれるようにすべき。在宅介護手当を月額5万円にせよ。子どもの医療費を、中学校卒業までにせよ。産後の検診は親子に対して助成せよ。妊婦に対して歯科検診を、無料にせよ。新型インフルエンザの予防接種の助成をせよ。新型インフルエンザなどの疑いで、国保資格証交付世帯の被保険者が受診希望の場合は、短期証を、無料にせよ。保健福祉課長 中学卒業まで試算する。



インフルエンザの予防接種

新型インフルエンザの予防接種助成を

町長 臨時議会で決定

町長 繰り入れは基本的にやらない。資格証明書の発行は保険料を納めない人々に対する措置である。後期医療保険制度、老人保健制度との整合をとりながらどう対応するのか。新たな制度を観察していく。

町長 待機者が在宅がいいか、特養がいいのか考えてもらいたい。できない。できない。平成11年より実施。臨時議会で決定。県を通じて県の医師会や薬剤師会等に通知している。



小川 益一郎議員

問 JFA(日本サッカー協会)が聖中にサッカー選手養成専門の中学生を全国から募集し、各学年15人程度合計45人、50人を招いて特別教育をする構想は突然知らされた。エリート選手を中学校に入学させることが公教育になじむのか。

来年の夏までに方針を決めるとされているが莫大な財政支援が必要だし、町民合意が第一だ。

来夏の町長選挙に立候補すると思うが、選挙公約に掲げ信を問うべきだ。

町長 聖籠町におけるサッカーを取り巻く諸情勢の中で、JFAの制度を聖籠町に導入することを調査・研究している。この問題に賛否両論あることは確かであるので、今後町民の合意を得ながら対応していく。

来年の町長選挙に絡めてマニフェストに掲げて是非を問うことは、今時点で飛躍的な考えだ。私は来期の町長選挙に立候補するかどうか、まだ態度表明していない。

町長 今の段階で飛躍した考え 聖中へサッカー生徒の誘致町長選挙で問え



桜井 怜議員

教科単位の遅れはないか

教育長 小学校冬休み2日間短縮

問 新型インフルエンザは、我が町だけでなく、全県下の児童及び、学生の学びに大きな影響を与えている。

町の小・中学校で学級閉鎖をしなければ学級が蓮小が1学級、山小で5学級、龜小で1学級、聖中が4学級である。

学級閉鎖による実日数が土、日を除いて長いのが、小学校で、およそ9日間の学級もあり、中学校は4日間という学級もある。

ゆとり教育路線を修正した学習指導要領が、先行実施され、教科においては授業時間が、増えてスタートしたこともある。

6年生の教科単位、中学3年生の来春の受験等を心配している。教科の遅れなどはどうなっているか。

教育長 学校では、年度当初に授業をどのように進めるか、授業時間に余裕を持って計画を立てている。

現段階では、大きな遅れはないものと認識している。

ただし、台風による臨時休校したこと、インフルエンザの感染が、各学校に広がったことを考慮して、小学校は冬休みを、2日間短縮する。

中学校は、年度初めの計画で、既に夏季休業を少なくして、授業時間を確保しており、大幅な遅れはない。

国体後のスポーツ振興は

町長 持続的な発展を期す

問 国体は成功裏に終わったが会場となったセー

リング、フェンシング、サッカーに環境整備も含めて億単位の投資をしたが、今後の町スポーツ振興に指導者も含め育成してもらいたい。

国体が終わったらずべて消えて無とならないように。

町長 青少年健全育成の面から持続的な発展を期すべきと考えている。

また、施設や指導者の対応についても保護者や関係者から要請を受けており、環境を整えたい。



国体後のスポーツ振興をはかれ

新・教育委員長の所見は

教育委員長 精一杯務めたい

問 教育委員長に就任した感想と抱負と教育目標に掲げたいものは何か。

聖籠中学校の現状をどう見るか。

教育委員長 教育委員会が役割が果たせるように精一杯務めたい。教育の目標は健康な心を育てることであり、健康な心は柔軟で物事を素直に受けとめられることができると思う。

聖中の現状の中で不登校、器物破損、暴力行為など減少につながるよう願っている。

貸付金未償還の責任は

町長 政治責任とらない

問 村下開発の貸付金が来年2月で償還期限だ。未償還の場合町長の政治責任は辞職か。

町長 政治生命をかけてこの仕事に傾注している。

予防ワクチンに助成基準はあるか

町長 発生状況と社会情勢を見て

問 肺炎球菌ワクチン接種は、保険対象外のため、料金は病院によっても異なるが、自己負担5000円ほどかかるが、効果は5年間持続する。

高齢者の方は、肺炎にかかっても重症にならず、施設入所者においては亡くなる方が少なくなった。女性の子宮頸がんは、20歳代30歳代のがんのトップを占める。

子宮頸がんの7割を防ぐことができるこのワクチンは、半年間で3回接種が必要、費用は3万円から5万円ほどかかる。

保険対象外のため高額である。これらの予防ワクチンに、助成が必要と考えるが基準はあるか。

町長 基本的に発生状況、社会情勢、町民要望等で検討。高額な接種料の現状であれば、前向きな対応の必要がある。



元気に登校する子どもたち



加藤 正之議員

町長は現在4期目で十分多選に当たると思いますが、多選とは何選を言うか。
町長 せんたくに加入し、基本的に内容にも共鳴しているので署名した。多選が何選が明確にし

町長も署名している「せんたく八策」で、首長は権力に執着するなれあいう話が出ています。しかし、それがすべてだという認識ではない。党・政治家に賛同するよう強く求めている。

町長 町村は5選

多選とは何選か

町長は現在4期目で十分多選に当たると思いますが、多選とは何選を言うか。
町長 せんたくに加入し、基本的に内容にも共鳴しているので署名した。多選が何選が明確にし

町民に必要な施設を

町長 全国の先取り施設

町民が一番必要としている介護施設は特養だが、ウエルネスパークにそれ以外の施設を誘致したのはなぜか。
町長 今は全国的に介護付きの賃貸住宅が普及し始めている。それを先取りした形で社会福祉法人が開設してくれたものと理解している。



躍進をつづけるJAPANサッカーカレッジ

中学校への効果は

教育長 学校運営上問題になる

JFAアカデミーは中学校自体にはマイナスの面しかないように思うが、どのような効果があるか。
教育長 放課後の活動に参加しないというアカデミーとの協定。また、学校の週3時間の授業時間をアカデミーで訓練する互換性カリキュラムの協定は問題になってくる。

町長の財産を無償貸与するとともに、2億円の助成をしたJAPANサッカーカレッジが開校して8年になる。国体での優勝、開志学園の全国高校選手権県大会での準優勝など、その活躍はマスコミでも報道

町への経済波及効果は

町長 207人がアパートに

町への経済波及効果はどのくらいあるか。運営は計画どおりか。町に報告はあるか。
町長 学生の8〜9割が県外出身者で、町内のアパートに207人が居住している。17年度から高等部を設置し、本年度は424人の学生が在籍しており、当初計画をクリアしていると思う。特に運営状況の報告はないが、確認の必要はある。

構想の周知と参加を

町長 不徹底を反省している

バイオマスタウン構想作成に際しての、町民に対する配慮不足に関して、計画公表後どのような対応をしたのか。計画への町民参加を、具体的に説明してもらいたい。
町長 策定段階での町民参加については、指摘のとおりで反省している。今後はこの点を踏まえ、町民と合意に配慮した中で、生ごみのリサイクル事業や生産調整との関係から、バイオエタノールについて考えていきたい。



小林 政榮議員

モデル事業の結果どうする

町長 たい肥として十分に使える

家庭系の生ごみたい肥化事業、生ごみ事業の発酵装置並びにたい肥の試験結果に関して、何を調査したのか結果をどのような場で検討されたのか。
町長 成分分析の結果からは、たい肥としての一般的な数値が示され、問題も無いので16人の農家に実証試験を依頼した。結果として、病気の発生も少なく食味も向上した。と関係農家の検討会での意見があった。



土づくりにやさしいたい肥

どうする生ごみたい肥

町長 事業の全町化を実施する

生ごみたい肥化事業の全町化について、3カ年のモデル事業としてスタートした。この事業は4年目に入り、事業の全町化について、今後どのように取り組んでいこうとしているのか。
町長 今までの各種試験検討を踏まえて次年度より計画的、段階的に施設の建設、生ごみ事業について町民との合意を得るため対応していきたい。

生産調整どうする

町長 農家の努力に応えたい

政権交代による農業政策転換も予想される。民主党政権に対する町長の現在の感想と今後の対応についてと同時に次の年度を生産調整をどのようにとらえ、対応するか。
町長 民主党政権の今後は、期待するところが大きい。生産調整については、生産目標数値が内示されており、一方では個別所得補償制度、直接支払制度といった未確定部分がある中、転作物の助成金単価の引き下げもある。町としては、農家の皆さんの努力に応えていきたい。

委員会閉会中の

継続調査報告

国体・防災などを調査

総務文教

11月13日、本町で開催された国体、まちなか防災訓練、ハザードマップ、教育の諸問題について調査した。

国体について、3競技会場の運営は大きな支障もなく無事終えることができた。今後、国体推進室は国体の詳細な事業報告書を作成する。

町で行われた国体競技が、町の中でどう展開されるか今後の課題である。

まちなか防災訓練については、昨年度と比較して約200人参加

者が増えた。平成21年11月現在、自主防災組織を設置している集落は15集落。組織化率34・7%。町としては、今年度中に全集落に自主防災組織を設置することをめざす。

住宅用火災報知機設置の助成事業は認知度が低く設置状況が思わしくない。今後、消防団と連携して普及に努める。

災害ハザードマップの素案はできたが、防災会議を経て22年度に入り各家庭に配布される。



米粉製造施設の視察など

厚生産業

11月19日、米粉製造工場の視察、まごころ保育園の視察、台風18号による農作物の被害調査を行った。

米粉の工場視察は、胎内市の「新潟製粉株式会社」を視察した。当工場は市が50%出資した第3セクター方式で経営している。

年間1320トンを生産し、亀田製菓、グリコなどに出荷している。

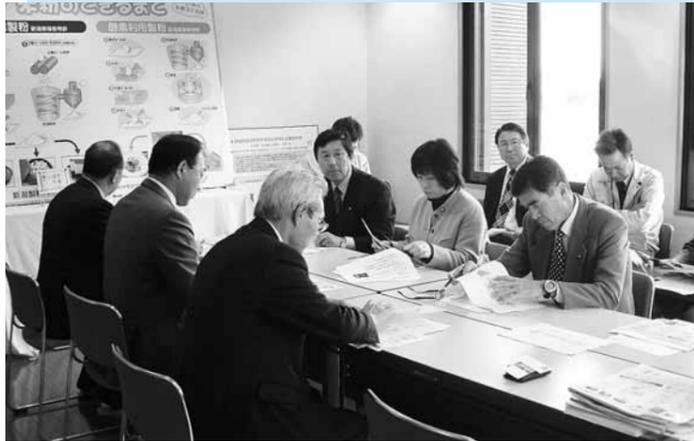
まごころ保育園せいこうについて

11月2日から開園し、現在の園児数は18人で、22年4月からは定員30人に対し31人の入所予定である。

職員は現在13人であるが、園児の増加に伴い、職員も今後増員する予定である。

台風18号による農作物被害調査について

10月8日に本町付近を通過し



た、台風18号による被害は、梨の被害を中心に、600万円余りの被害であった。

一般質問の通告 メール・FAXに対応

議会運営

議会運営委員会は地方自治法第109条の2に定められた議会の委員会である。

議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項、その他常任委員会と同様の調査、議案、陳情等の調査である。

議会運営委員会は年4回の議会定例会概ね7日前までに開催される。臨時会の場合はそのつど開催される。

議法定例会の場合議員は町執行部に対し一般質問をすることができる。

一般質問は通告とし通告期間は一週間である。

通告の期限は議会運営委員会の2日前の午後3時までとなっている。

今迄議会の申し合せにより、この通告文は議長あてに文書で提出していたものである。



しかし現下の電子時代に対応することから、やむを得ない事情の場合電子メール・FAXでも可とすることとした。

ただし発言順位は文書提出者の後順位とした。

お知らせ

議会を傍聴してみませんか
次回の**定例会**は、
3月上旬開催の予定です。

今、町ではどんなことが論議されているのだろうか。また、どんな計画があってどう進んでいるのだろうか。あなたに身近なことも知れません。

一度傍聴においでください。

会議録は、町図書館と保健福祉センターに置いてありますので、どうぞご覧ください。

なお、一般質問の通告文は、定例会開催前に、役場1階窓口、町民会館、図書館、保健福祉センターに設置しますので、ご覧ください。



募集

あなたもみんなのページ
聖籠町に嫁いで来たお嫁さんに出てみませんか！

もし、私もと思っている方は、お気軽にご連絡下さい。

対象者は町外から嫁いで来たお嫁さんです。

(連絡先)

聖籠町役場議会事務局
☎0254-27-1967 (直通)

議会広報対策特別委員会

議長	須貝 龍夫
委員長	中村恵美子
副委員長	高松 守雄
委員	小川益一郎
	宮沢 光子
	田村富美男
	小林 政榮

みんな



ページ

聖籠町に嫁いで来たお嫁さん

人に優しい町だと実感しています



高橋 こそ絵 さん
(二本松)

Q どんなきっかけで彼と知り合いましたか？
共通の友人を通じて知り合いました。始めの頃は、お互いの友人など大勢で遊ぶことが多かったです。

Q 聖籠町に嫁いで来てどんなイメージを持ちましたか？
その時期によって収穫できる果物・野菜があり、自然のたくさんある、春夏秋冬、四季をはっきりと感ずることのできる町だと思いました。一人ひとりが町を大切にしているイメージを持ちました。

また、助成や公園などの施設なども充実していて「聖籠町はいい町だよ」と話には聞いていたのですが、思っていた以上に人に優しい町だと実感しています。

Q 町での生活はどうですか？
毎日楽しく過ごしています。皆が協力し合い連携した町だなあと、日々感じています。各家庭に放送が流れるのが驚きでした!!
何かあれば町全体で助け合うところが、すごくいいと思いました。近所の方や周りの皆さんも優しくしてくれて嬉しいです。
聖籠町に嫁いでまだ1年ですが、いつまでも家族が元気に仲良く暮らしていけたらと思います。

Q 町に望むことはありますか？
いつまでも安心して暮らせる、住みやすい町であってほしいと思います。

自公政権から、民主連立政権へと代わった。
多くの国民が、今の生活を変えてほしいとの思いで託したのだろう。
毎日のように、「事業仕分け」の様子、鳩山首相の母親からの献金問題、小沢幹事長が党国会議員約140人などからなる訪中国を率い北京で胡国家主席と会談など、テレビ等で報道されている。
政府税調は、すでに「大綱」に所得税、住民税の扶養控除廃止を盛り込む方針を固めている。このことにより連鎖的な負担増は、政府税制調査会が把握しているだけでも、保育料など23項目にのぼることが明らかになっている。
政権が代わっても、すぐに暮らしが良くなるとは思われないが、国民の目線に立った政治にしてほしいと思うものである。

議会広報対策特別委員会
委員長 中村 恵美子

編集後記